

日本気象学会国際学術交流基金の募金目標達成のお知らせとお礼

日本気象学会ではかねてより各国の気象関係組織および研究者との学術交流を促進するため、学会もしくは会員の学術交流の援助を目的に国際学術交流基金を設け、このための募金活動を続けてまいりました。

これまで多くの方々から募金の趣旨に御賛同いただき、多数の会員の個人寄付と大口の団体寄付があり、お陰様で平成元年度で基金額が2千万円に達し、当初の目標を達成することができました。ご協力いただきました会員並びに関係団体・機関の方々に対し厚くお礼申し上げます。

げます。

今後は当基金を基にして国際学術交流を一層活発化することが可能となり、会員の皆様のご期待にも沿えるものと確信いたします。

なお、団体からのご寄付はこれをもって終了させていただきますが、篤志による個人寄付は今後もお受け致しますので引き続き宜しくご協力をお願いします。

平成元年7月

日本気象学会

日本気象学会誌 気象集誌

第II輯 第67巻 第2号 1989年4月

楠田 信・阿部信男：海陸風の風向日変化に及ぼす水平移流項の影響

西 憲敬：赤道域の高度場および温度場における30~60日変動の観測的研究

K.M. Lau・Li Peng・C.H. Sui・中澤哲夫：超雲団、西風バースト、30~60日振動そして ENSO の力学：ある統一した視点

菊地勝弘・遊馬芳雄・中平 治：北海道石狩湾上の降雪雲のレーダーエコーの特徴

(レーダーエコー気候学；その1)

露木 義・栗原弘一：西部熱帯太平洋域の対流活動の夏期東アジア循環場への影響

加藤内蔵進：1979年における中国の梅雨前線付近の下層循環系の季節遷移と北半球夏モンスーン

田中正之・塩原匡貴・中島映至・山野 牧・荒生公雄：長崎における1982年5月の黄砂の光学特性 第1部 観測

中島映至・田中正之・山野 牧・塩原匡貴・荒生公雄・中西裕治：長崎における1982年5月の黄砂の光学特性 第2部 モデル

岩崎俊樹：気圧・温位混成鉛直座標系を用いた波動・平均流相互作用及びラグランジュ平均子午面循環のための定式化